

様式第5号(第15条関係)

審議会会議録

審議会等の名称	平成29年度 第1回瑞穂市地域公共交通会議
開催日時	平成29年10月3日(火曜日) 午後1時30分から午後4時15分
開催場所	瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室
議題	協議事項1 会長及び副会長の選任について 協議事項2 運転免許証返納者に対するみずほバス運賃割引制度の導入について 報告事項1 地域間幹線バス導入の検討について 協議事項3 みずほバスの見直しの方向性について
出席委員 欠席委員	出席委員 15名 倉内文孝(会長)、迫田義一(副会長) 武藤行儀、山田規光久、山田芳喜、 伏見幸一郎、矢野敏雄、棚橋和子、 野田寧宏、加藤明、二輪昭宏(代理細川純平)、 早崎辰仁、瀧瀬英一、朝倉和仁(代理柴田裕子)、 早瀬俊一 欠席委員 2名 鷲見高志、鹿野政和
公開・非公開の 区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	1人
審議の概要	別紙のとおり
事務局 (担当課)	瑞穂市 総務部 総務課 T E L 0 5 8 - 3 2 7 - 4 1 1 1 F A X 0 5 8 - 3 2 7 - 7 4 1 4 e - m a i l soumu@city.mizuho.lg.jp

## 平成29年度 第1回瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日 時 平成29年10月3日(火) 午後1時30分から午後4時15分  
場 所 瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室  
出席委員 会長 倉内 文孝 副会長 迫田 義一  
武藤 行儀  
山田 規光久(随行:三好 高弘)  
山田 芳喜 伏見 幸一郎  
矢野 敏雄 棚橋 和子  
野田 寧宏 加藤 明  
二輪 昭宏(代理:細川 純平)  
早崎 辰仁 瀧瀬 英一  
朝倉 和仁(代理:柴田 裕子)  
早瀬 俊一

欠席委員 鷲見 高志 鹿野 政和

オブザーバー 吉村 等(随行:吉川 悟)

事務局 総務部長 梶浦 要 総務課長 伊藤 巧  
総括課長補佐 栗田 正直 主査 藤森 雅人  
主任 近藤 崇  
テイコク 3人

傍聴人 1人

### 1. 開会

(事務局)

只今から平成29年度第1回瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。後ほど、会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

### 2. 委員の委嘱

(事務局)

本日平成29年10月3日より2年間、瑞穂市地域公共交通会議の委員をお願いしたいと思います。市長より委嘱状をお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(市長から委嘱状の交付)

### 3. 市長あいさつ

(市長) 本日はお集まりいただきありがとうございます。多くの専門家の皆様に参加していただきありがとうございます。東京の一極集中が進み、地方での人口減少が進んでいます。そのような折、JR穂積駅のある瑞穂市でも少子化・高齢化が迫ってきております。瑞穂市は岐阜県で最も人口が増えておりますが、徐々に横ばい、そして減少に転じていくかもしれません。それは交通の問題が大きいと思います。交通の便がよくなれば多くの人々が帰ってきてくれると思います。それほど交通は重要なものだと思います。

また、車に乗れなくなっていく高齢者の生活も考えなければなりません。今後5年、10年の間に大きな山を迎えると思っております。そのため、高齢者や免許を返納しなければならなくなった方のことを考えたまちづくり、そして、若者が帰ってこられるまちづくり、そのための交通の基盤を作っていく必要があります。今後も岐阜県一の人口増加率を維持していければと思いますので、本日は素晴らしいご意見をお願いいたします。

(市長公務のため退席)

(事務局) 瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に定める過半数の委員の出席を満たしているため、会議は成立する旨報告します。

### 4. 議事

協議事項1 会長及び副会長の選任について

(事務局) 会長及び副会長の選任については瑞穂市附属機関設置条例第7条第2項により委員の互選により定めることとなっております。立候補または推薦がありましたら、提案をお願いします。

(立候補・推薦なし)

(事務局) 事務局案としまして、会長に倉内委員、副会長に迫田委員を推薦したいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(全員承認、倉内委員・迫田委員承諾)

(会長〔議長〕) 本会議は長い間開催されていなかったように思いますが、それは長い間大きな問題がなかったからなのだと思います。今回は大きな変更があるということで開催するとのことですが、これまでの何年間の中でお気づきの点等ございましたら、ご意見をいただけたらと

思います。よろしくお願いいたします。

(迫田委員) 倉内先生と同様、以前より本会議に関わっておりまして、この度も副会長として倉内先生含め委員の方にお世話になると思います。よろしくお願いいたします。

(事務局) これからの議事進行については、瑞穂市附属機関設置条例第7条第3項により、倉内会長に議長をお願いします。

(会長〔議長〕) まず、傍聴希望者の入室案内をお願いいたします。

(傍聴希望者入室、傍聴に関する連絡事項の説明)

(会長〔議長〕) それでは進めさせていただきます。

会議に当たっての確認事項

- ・会議録の要点筆記
- ・発言委員の氏名公表
- ・会議録は会長、副会長が確認を行ったのち公開する

協議事項2 運転免許証返納者に対するみずほバス運賃割引制度の導入について

(会長〔議長〕) 運転免許証返納者に対するみずほバス運賃割引制度の導入について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) まずは、瑞穂市の公共交通について説明します。

みずほバス路線図で瑞穂市の公共交通について説明。

続きまして、運転免許証返納者に対するみずほバス運賃割引制度について説明します。

資料で割引制度の主旨、概要、実施予定日や、他自治体の支援施策について説明。

(伏見委員) この制度はすでに決定していることですか。

(事務局) この制度は市の方で検討しておりまして、本日の会議で承認をいただいたのち実施したいと考えております。

(伏見委員) 運転免許証の返納者を半額にするのではなく、いっそのこと運賃を無料にしてはどうですか。瑞穂市の僻地にお住まいの高齢者は、自由に乗り降りできないのであればなかなか利用しないと思います。

みずほバスの昼間は、利用者はほとんどいません。無料にすることによって、バスに乗って市内を回る高齢者が増えると思います。また、外出することによって健康増進にもつながります。高齢者を介護福祉する金額よりも、市民に無料バスを提供する方が財政的にもよいのではないですか。運転免許証を持っていない高齢者もいますので、こういった方も対象に70歳以上にしてはどうでしょうか。

(事務局) 無料であるのが理想だと思いますが、今回は運転免許証の返納者への対策を考えさせていただきました。今後検討させていただきたいと思います。

(伏見委員) この会議でみなさんにも意見を伺いたいです。

(会長〔議長〕) では、みずほバスの運賃に関しまして、まずは利用者の立場からご意見をお聞きしたいと思います。

(矢野委員) 今後高齢者も増加していきますので、運賃を無料にして自由に買い物や病院にも行けるとというのが理想だと思います。

また、現在の時刻表では朝、通勤・通学の方が間に合いません。その点も検討してほしい。

(棚橋委員) 無料に越したことはないと思います。乗客の少ない昼間の時間帯を無料にしたらどうですか。

また、バス停とバス停の間の距離が長いので、バス停だけでなくどこでも乗降可能にすればどうですか。

(野田委員) 運転免許証の返納者だけでなく70歳以上は一律無料にするべきだと思います。

また、前回の会議から4年の間に様々な問題も生じていますので、その問題についても議論していきたいです。

(加藤委員) 運転経歴証明書の発行を自主返納から5年以内と決めてしまうのはどうなのでしょう。高齢者タクシー助成制度と同じような対象者にしてはどうでしょうか。

(瀧瀬委員) 運転免許証の返納者のデータを蓄積し続ければ膨大なデータとなってしまうため、目安として免許証の返納から5年以上経過した方のデータは消去しております。そのため、運転経歴証明書の発行を返納から5年以内と決めております。

(会長〔議長〕) 続いて、事業者、国、県の方々にお聞きしたいと思います。

(代：細川氏) 現在の議論は、運賃を無料にすることと、利便性を向上させることが一緒に考えられているのではないかと思います。出かける機会を増やすために運賃を無料にするのか、それともドアツードアにするのか分けて考える方がよいと思います。よりよいみずほバスになるのであればどちらの考えでもよいと思います。

(代：柴田氏) 持続可能な形でやっていくにはどうすればよいのかということを考えていかなければならないと思います。

(早崎委員) 事務局側は運賃を半額にした理由を説明したらどうですか。よりよいバスにするためには、ルートやダイヤといったバスの運行のあり方を変えるのか、それとも運賃を変えるのか、よく考える必要があると思います。運賃を下げた方がよいといったときには、特定の返納者の方にするのか、年齢にするのか議論の余地があると思います。しかし、全員を無料にしてしまうとバス事業が成り立たなくなると思います。

(瀧瀬委員) 今年に入って9月までに、瑞穂市内で約58人の方が運転免許証を返納されています。去年が今の時期で28人でしたので、倍以上ですし、昨年1年間で49人でしたので、それを超えています。バスがあるから運転免許証を返納しようという契機になれば非常にありがたいことです。

また、デマンド運行についても考えていただければ、より使いやすい公共交通になると思います。

(山田芳委員) 運賃に関しましては瑞穂市のこれからの考え方に関わってくるのではないかと思います。自分たちのバスだからどんどん乗って維持していかなければという考え方もありますし、これは福祉の関係だから無料にしようという考え方もあります。無料にした方がよいという市民の声が大きくなり、市もそういった考え方になれば無料にすればよいし、維持していくために収益をあげなければならぬという考え方であれば有料にすればよいと思います。

朝早いバスを望むことについては、コストの面も踏まえて、どこに重きをおくのかよく考えられた末の現在のダイヤだと思いますが、今後検討していくべきだと思います。

デマンド運行はタクシー制度の料金となり市の負担が増えてしまいますので、慎重に考えなければならぬと思います。

(会長〔議長〕) 続いて、バス事業者の方にお聞きしたいと思います。

(武藤委員) 運転免許自主返納者に対する割引は、交通事故を抑制する目的として考えていただければと思います。無料化は福祉の目的になりますので、別の観点で議論していただければと思います。

(山田規委員) まちづくりの観点でバスを考えていただければと思います。交通の不便等の問題はこの会議とは別の住民の皆さんが話し合える場で議論していただければと思います。

この議題は運転免許証の自主返納者に対する割引制度ですので、高齢者の事故防止等の観点から非常によいことだと思います。

(迫田委員) 高齢ドライバーとは具体的に何歳からですか。

(瀧瀬委員) 交通安全協会での助成対象は65歳以上となっています。運転経歴証明書は免許証を返納した方であれば何歳でも発行可能です。

(迫田委員) 運転経歴証明書は何歳でも発行できるということで、この制度を交通事故の防止策として考えていただけたらと思います。また、福祉と交通事故と別物として考えて、それぞれで検討すべきと考えます。

(事務局) この制度は運転免許返納者であれば年齢に関係なく割引の対象となります。

(早瀬委員) この制度は高齢者の交通事故の防止策として理解していただけたらと思います。福祉の方では10月からタクシーチケットを配布するというので政策を進めております。

なお、後ほどの資料のとおり、みずほバスは3路線から4路線に、また時間帯を増やすということで経費がかなり増える中、料金は変わらずワンコインの100円でお願いしたいと思います。

(会長〔議長〕) 運転免許証返納者に対するみずほバス運賃割引制度に関しまして、導入してもよろしいでしょうか。

(全員承認)

#### 報告事項1 地域間幹線バス導入の検討について

(会長〔議長〕) 地域間幹線バス導入の検討について事務局からお願いします。

(事務局) まず、JR穂積駅より北側のネットワークについて説明します。

資料で岐阜バス大野穂積線を説明。

資料で2市2町広域公共交通連絡会議の取り組み、広域公共交通の現状・問題点、地域住民アンケートの調査結果、瑞穂市における公共交通の現状・問題点、広域公共交通グランドデザイン(案)幹線バスの利用意向を説明。

続いて、JR穂積駅より南側のネットワークについて説明します。

資料で安八町の地域住民アンケートの調査結果、大垣桜高校へのアンケート調査結果を説明。

瑞穂市と安八町においては、この調査結果を基にバス事業者に営業路線で穂積駅と安八町を結ぶ幹線バスの導入を昨年度よりお願いしてまいりました。その結果、名阪近鉄バスさんで路線を引いていただける運びとなりましたので、これ以降の説明は名阪近鉄バスさんをお願いしたいと思います。

(山田規委員) 名阪近鉄バスでは昨年度実施の住民アンケートや日頃聞いているニーズから、こういったルートがよいのか検討しました。

瑞穂市の南部は交通空白地帯があり、また、揖斐川と長良川に挟まれた安八町の東西を走る路線は通勤の朝の時間帯に渋滞が激しいという現状があります。かねてより安八町から穂積へ行くバスを、ということで話が出ておりましたので、今回検討いたしました。

資料で(仮称)安八穂積線を説明。

アンケートとは少しルートが変わっております。また、プラント6と大垣桜高校の間の墨俣にバス停ができないか検討中です。安八温泉からは輪之内町コミュニティバス南北線がありまして、安八温泉から輪之内町を経由して海津市の今尾まで接続できます。運賃は事業者の運賃である対キロ区間運賃制とする予定です。なお、運行開始の目標は平成30年の4月1日です。

(加藤委員) 北側の幹線バスの運賃体系はどうなりますか。

(事務局) 岐阜バスの大野穂積線を補完する路線になりますので、岐阜バスと同じ運賃体系になると想定しています。

(加藤委員) 安八穂積線の収益が赤字になった場合、市は赤字補填をするのですか。

(事務局) 現在瑞穂市を走る大野穂積線、美江寺穂積線も沿線市町で赤字補填をしているため、安八穂積線も瑞穂市と安八町で赤字補填を検討

しています。

(加藤委員) 市町の補填割合は、利用者の人数によって公平な割合にしてください。

### 協議事項3 みずほバスの見直しの方向性について

(会長〔議長〕) みずほバスの見直しの方向性について事務局からお願いします。

(事務局) まず、みずほバスの見直しに向けた検討状況を説明します。

資料 でみずほバスの見直しに向けた検討状況を説明。

資料 でみずほバスの現行路線図を説明。

資料 でみずほバスの路線再編案を説明。

再編の方針としましては、1点目としまして、みずほバスの利用者が増えているということで、路線を大きく変えてしまうと現在の利用者にとって不便になってしまうと考えられますので、現行の路線をなるべく崩さないようにしています。2点目としまして、営業路線を補完する形でみずほバスの路線を検討しています。現在新設を検討しているバス停は6箇所ですが、パブリックコメントを踏まえ、ルート上で要望のあるところにも設置したいと考えています。

本田・唐栗線をベースとした本田・七崎線は、アンケートで要望が多かった七崎地区や本巢市に建設中のイオンタウンまで路線を延伸しています。七崎方面まで延伸することにより1周が長くなってしまうため、本田、馬場地区の方の利用がなくなってしまう可能性があります。そのために、新規路線として馬場・十七条線を導入します。馬場・十七条線は本田、馬場地区をカバーした後、利用意向が高い十七条、十八条地区を通るような形となっています。十九条・古橋線は横屋バス停の移設以外の変更はございません。牛牧・穂積線は大きく路線を変更しています。現状はプラント6まで来て戻るといったルートとなっていますが、再編後は道幅の狭い下畑～野白新田を通らないような形となっています。それに伴い、下畑、野白新田のバス停を移設しております。また、利用意向が高い牛牧団地西に新たにバス停を設置しています。

(加藤委員) 高齢者は昼間、通勤・通学者は朝夕に多く利用しています。夜間の増便だけでなく、免許を返納して半額で高齢者が多く乗るようになったら昼間の増便も検討いただけたらと思います。

(山田芳委員) 全体的には増加傾向ですが、牛牧・穂積線のみ利用者が少なくなっています。平成28年度は減少していますが、その原因の分析は

行っていますか。また、新たな路線はそれを踏まえた路線になっていますか。

病院名、買い物施設名をバス停名にしてはどうですか。

(事務局) 牛牧・穂積線は駅に近いということもありまして利用者が少ないと考えられます。そこで今回は団地等、需要が見込める場所にバス停を設置しようと考えています。また、前回の再編後にマックスバリュがオープンしたので、パブリックコメントを踏まえてマックスバリュ付近にもバス停を設置しようと考えております。

(山田芳委員) 路線図に買い物施設は入っていますが、病院が入っていないのはなぜですか。

(事務局) 病院を入れると路線図が見づらくなってしまうため、今回提示した路線図は会議用ということで商業施設のみを示しております。市民の皆様にお配りする路線図には医療施設も入れたものを検討していきます。

(瀧瀬委員) バス停設置のために現地確認をしなければならないため、早めにご連絡をいただきたいです。また、施設内のバス停設置も積極的に進めて行っていただきたいです。

(事務局) 施設内のバス停設置は、車両のサイズも含めて検討していきます。

(瀧瀬委員) 穂積駅前の駐車問題も合わせて考えて行っていただきたいです。連続でバスが来るようになれば、駐車しづらくなる可能性があると思いますのでご検討ください。

(迫田委員) 駅前の混雑について、公共交通だけでなく駅前拠点化構想も含めて検討していただければと思います。

(事務局) 駅前については現在交通量調査をしている段階ですので、その結果をもとに対策を検討していきます。

(伏見委員) 本田・七崎線は穂積駅から一周してくるのに現在よりも時間がかかることが予想されるため、朝の便は七崎発にしてはどうですか。また、各路線の最も遠い場所にターミナルをつくるのはどうでしょうか。

(事務局) JR穂積駅の乗客が最も多い時間帯にバスを合わせていこうとい

う考えですので、時刻表は今後検討していきます。各路線にてターミナルの設置は難しいですが、貴重なご意見としていただきます。

(伏見委員) 早く穂積駅を出発すれば早く穂積駅に到着できるので、それも検討をお願いします。

(早瀬委員) 将来的には、北側に行く路線は北口で、南側に行く路線は南口で乗降ができるようにと考えております。

朝、穂積駅に到着する時間帯を、岐阜駅までの利用者か名古屋駅までの利用者かどちらに重きをおくのが難しいところですが、これまでに3回路線を変更しております。1回目は名古屋に重きをおいたダイヤに、2回目は岐阜に重きをおいたダイヤにしたところ、2回目の方が利用者が多いということで3回目は岐阜に重きをおいたダイヤとしました。

(会長〔議長〕) みずほバスの見直しの方向性について今後この方向性に沿って検討していただくということによろしいでしょうか。

(全員承認)

(会長〔議長〕) 最初にご意見をいただいていた運賃に関してですが、なかなか難しい問題だと思います。料金を決めるということは結果的に皆さんが納めていただいた税金をどのように使うのかということになってきます。住民の方が納得したうえで進めればそれでよいと思います。そのために市と住民が議論できる場をつくっていただければと思います。

また、前回の会議から今日までで最も大きな変化はデマンドの普及だと思います。デマンド運行や他の市町での取り組みも研究しつつ、瑞穂市にあった地域公共交通を考えていただけるとよいのではないかと思います。

## 5. その他

(会長〔議長〕) その他について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 穂積駅前ロータリーについて、現在大きく2つの問題があります。1点目は、一般車両がみずほバスの乗降スペースに駐車しているため、バスが正規の場所で止められないことです。2点目は、朝日大学のバスから降りる乗客が横断歩道を渡らず、最短距離で駅の方へ歩いていくことです。北方警察署にてパトロールをしていただいておりますが、なかなか改善されていません。そこで、バスレーンと一

般車両のレーンの中にポストコーンを置くことと、車道と歩道の間  
に柵を設置することで横断歩道からしか渡れないようにすることを  
考えております。北方警察署やバス事業者と調整し、今年度中に実  
施しようと考えております。また、穂積駅の交通実態については、  
次回の会議で調査結果を報告いたします。

(会長〔議長〕) ポストコーンを設置することでバスの通行性が落ちる可能性もあ  
るので、事業者さんとよく検討いただければと思います。

(事務局) 今後は、今回提示しましたスケジュールに沿って進めていきます。

(迫田委員) 本日は貴重なご意見ありがとうございました。バスの利用価値が  
高まるように皆さんと協議を進めていきたいと思えます。次回もよ  
ろしく願います。